

豪雪の疲れを  
笑顔で吹き飛ばす!



- 【主な内容】
- 表紙…雪上運動会(清田山)
  - 2、3ページ…高校生座談会
  - 4、5ページ…豪雪特集
  - 6ページ…郷土出身者交流会
  - 7ページ…転作、母と子のつながり
  - 8ページ…新婚さんいらっしゃい  
出稼者現地懇談会
  - 9ページ…農業に生きる  
行事予定表
  - 10ページ…お知らせ

私たちの村の  
( )内は前月比

■人口 7,073 (-9)  
男 3,503 (-3)  
女 3,570 (-6)

■世帯数 1,647 (-1)



**農業用軽油 免税証の交付案内**

農業用軽油に対する免税証の交付を次のとおり行います。該当される方は忘れずに交付を受けてください。

★日時 三月二十三日(金) 午前十時～午後四時

★会場 役場議場

★必要書類

- ①印鑑(共同申請の場合)は全員の印鑑)
- ②免税軽油使用者証
- ③耕作面積証明書(農業委員会が発行)
- ④使用機械の証明書(税務課)

★その他 詳しくは、十日町財務事務所へお問い合わせください。(☎五七―五五―一)

**十日町少年少女 発明クラブ員募集**

★募集人員 十日町市、中魚沼郡の小学四年、中学校

**入校生募集**

十日町市高等職業訓練校では、次の通り訓練生を募集します。

★募集科・人員・期間  
建築科 二十人 三ヵ月  
建築製図科 二十人 六ヵ月  
和文タイプライター科 二十人 六ヵ月  
経理事務科 三十人 六ヵ月

三年までの生徒八十人程度

★活動場所 十日町市立理科教育センター(十日町中学校内)

★活動日 四月十一日、隔週土、日曜日を原則とする

★活動内容 基礎工作課程、アイディア工作課程、特別活動

★参加料 無料です。ただし教材費、傷害保険料は負担していただきます。

★申込み 所属の学校へ三月十五日までに申込みください。

**県警官(大卒者)募集**

★受験資格 大学既卒者

★採用予定人員 約二十五人

★受付期間 四月九日～五月十日

★第一次試験 五月二十日(日)

★第二次試験 六月中旬

★試験会場 新潟中央警察署

★採用月日 八月一日

詳しくは、十日町警察署へ(☎五二―三二―七)

**スパイクタイヤを 早めに交換して**

県では、スパイクタイヤの使用に伴う道路の損耗や

**自衛隊員募集**

★応募資格 採用予定月の一日現在で十八歳以上二十五歳未満で日本国籍を有する人。中学校卒業程度の学力を有する人で自衛隊法による欠格条項に該当しない人。

★試験科目 筆記試験(国語(作文を含む)数学、社会) 身体検査、適正検査、口述試験

詳しくは、役場総務課までご連絡ください。

**緑の国勢調査の 参加案内**

環境庁では、第三回緑の国勢調査の一環として実施する「動植物分布調査」への参加者を募集しています。この調査は、広く一般の自然愛好者にボランティア

みなさん  
おみのがしなく!

- 母親学級  
3月16日/上村病院/12:30~13:00/妊娠中の保健(後期)
- 妊婦検診  
3月16日/上村病院/13:30~14:00/
- 献 血  
3月21日/保健センター前/10:00~15:00
- ポリオ生ワク  
4月5日/保健センター/14:00~15:30/村内全域  
4月10日/保健センター/14:00~15:30/村内全域
- 初回者 S58.6.1~58.11.30
  - 追加者 S57.12.1~58.5.31
  - 前回未接種者

として参加を求め、動植物の分布状況を把握しようとするものです。

参加者は、地図、手引書によって、どこでの生きものを見つけたかを調査票に記入し環境庁に送ればよいのです。

詳しくは、県生活環境部 自然保護課(☎〇二五二―二三―五五二―、内線三三六)

【善意を ありがとう】

社会福祉協議会へ次の善意が寄せられました。  
下山 鈴木佐十郎 二万円

◆編集後記◆

▼村はじまって以来の大惨事を招いた五九豪雪。三月一日になって、役場四・一メートル、土倉五・九五メートルを記録し五六豪雪の最高積雪を上回りました。

▼この豪雪の痛手は、今後も、農作業の遅れや、田あぜの陥没、小河川の護岸の崩壊、樹木などの折損など様々な形で現われます。雪国の宿命とはいえ、この被害の大ききには、いかりに似たものを感じます。この豪雪で得た教訓を皆で今後にかかしたいものです。



十日町実業高校 上山 吉業 正人君 津南高校 荒屋 樋口 明美さん 津南高校 堀之内 南雲 光夫君 通山 小巻沢 芳枝さん



原町 鈴木 芳道君

# われらこの地に生きる

## 高3地元就職者語る

昨年度十日町管内の高校卒業生 1,077人中579人が就職し、343人(59.2%)が県外に就職しています。今回は、地元就職者の5人に集まっていたいただき、将来の目標や村の印象などを伺ってみました。



### 強い親の希望 地元に残る理由

**鈴木** 長男ですから家を継ぐと考えていました。なので都会に出ようとは思いませんでした。

**小巻沢** 進路について考えたのが三年になってからです。目的もなく大学に進んでも意味がないと思っただし、長女で親の希望もありましたので、地元に残ることに決めました。

**南雲** 進学が就職かを考えたのは、三年の一学期の終わりころでした。それからどっちにしようか迷いましたが、運よく十日町市内に自分の希望する職種の求人がありましたので地元に残ることにしました。

### ほぼ希望する会社へ 就職状況

**小巻沢** 十日町の朝日堂に就職します。自分には、事務系の仕事が通じていると思っただけで、この会社を選びました。

### 友達がいなくなるのが一番きついの 地元就職での迷い

**南雲** 動きながら技術を身につけるのも良いと思うけど、できれば都会の専門学校で学んだ後、こっちにもどってきたかった。

**樋口** 自分が希望する就職先がありましたので迷いませんでした。ただ、友達が都会へ出ていくのがさみしかったです。

### 雪の降るのが一番イヤ 中里村をどう思いますか

**樋口** これほど雪が降らなければ気持が良い所だと思います。村内には、若い人も少なく活気がないように思います。

**吉業** 五回六回も雪掘りをしてる。雪が降らなければ最高にいいけど、雪が降るからイヤです。

**鈴木** 大きな企業がないし十日町市と比べても、スポーツ施設や若者の交流の機会が少ないと思います。

**小巻沢** 雪のいっぱい降る

**南雲** 就職先は、十日町の電設会社です。電気関係の仕事をやりたいと思っただけで、この会社を選びました。

**樋口** 十日町のライオンに勤めます。商業科を出したので、学校で習った商品知識などを生かしたいと思っただけです。

**吉業** 田沢の自動車会社に就職します。自動車関係の仕事につきたいと思っただけで決まりました。早く仕事を覚え、がんばりたいと思います。

**鈴木** 十日町の卸売業です。将来性があると思っただけで決まりました。まだ自分には、何ができるのかはつきりわかりませんが、全力を尽くしたいと思っただけです。

**吉業** 完全に迷いました。就職先も限られていますので、今、希望する所に就職が決まってホッとしています。

**鈴木** ここにとどまることに対しては迷いませんでしたが、友達が都会に出てしまふことが一番イヤでした。小巻沢 自分としては、電子関係の大きな会社に就職をしたかったのですが、この辺にはそういう会社がないので。また、友達のはとんどが進学のため、友達のいなくなるのが一番イヤな気がします。

ところがイヤです。また、希望する就職口がないことや、採用する場合も通勤等の関係で差別があると思います。

**南雲** 僕も皆さんと同じで雪が多く降る点がいやです。清津峡温泉の災害がありました。長崎などの台風災害や都会での環境汚染に比べれば、中里村という所は住みやすいと思います。また、何かをしようと思っても、スポーツ、レクリエーション施設が少なく、十日町や小出の方へ行かなければならないので、身近な所にこうした施設がほしいと思います。

企業を誘致する必要があると思います。また、スポーツ施設やライオンなど大型店もあつた方がよいと思います。

**鈴木** スポーツ施設や企業誘致も必要だと思います。村内の観光資源の開発をする必要があると思います。

**小巻沢** 前の人が言ってくれたので、これといってありませんが、若者が自由に集う場所が必要だと思います。また、スポーツ施設の設置やスポーツクラブ等の育成に力を入れてほしい。

**南雲** 青年会等、若者の集まりは必要だと思います。スポーツや趣味の活動状況を広報紙等で知っても他人事に感じてしまう。もっと活動内容について積極的に広報してほしい。

若い人を村に定着させることは無理だと思います。たいていの人が都会に出たいと思っただけです。都会から戻ってくる人たちの受け入れ体制を考えてほしい。

**樋口** 都会に出る友達の中には何年かしたらもどきたいという人もいます。こちらに大きな企業があればもっと若い人が残ると思います。

ような仕事をした。南雲 平凡に暮らして行けば良い。仕事を一生けんめいする他に、趣味などを持ち、心にゆとりを持った日々を送りたい。

**樋口** 当面は、早く仕事に慣れる事。良い人がいたら結婚したいけど、仕事はやり続けたい。

**吉業** 前の人が言ったように、僕も充実した人生であればよいと思います。欲をいえば、年をとってから余裕のある生活をした。

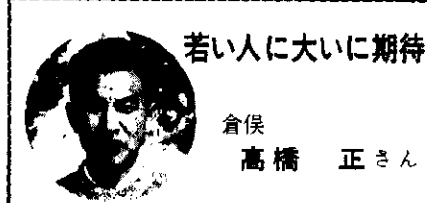
### 若者に魅力のある 職場を

**吉業** 若者が魅力をもてる

若い人に大いに期待

充実した日々を 将来目標

若者に魅力のある村に



倉俣 高橋 正さん

高校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。社会人として第一歩を踏み出す皆さんは、いま希望に満ちていると思います。

若い皆さんは、地域を支えたいせつな人材です。とかく都会にあこがれ故郷を捨てる若い人の多い中で、皆さんは、自分の進むべき道を、しっかりと見つけ自分の家を守り地域の発展を自らの手で作りあげていこうという強い信念の持ち主だと思います。

皆さんが社会人として、この地にしっかりと根をおろすことにより、後輩もどんどん地元で定着するのではないだろうか。それは若い君たちの双肩にかかっているのです。

この豪雪地の中里村では、若いエネルギーを必要としています。前途洋々たる皆さんに大いに期待するとともに、ご活躍をお祈りします。

座談会の中でも、村の活性化を図るための手段として、企業誘致があげられています。

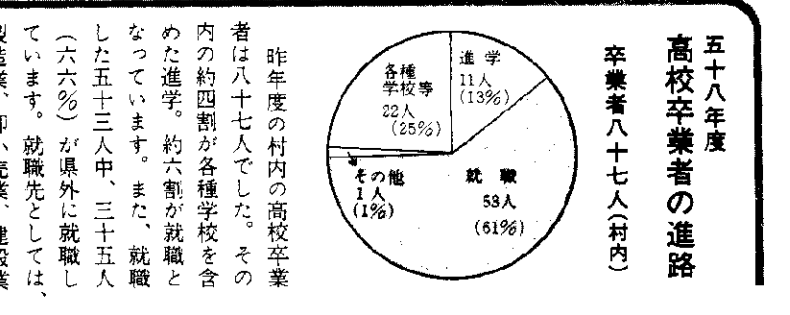
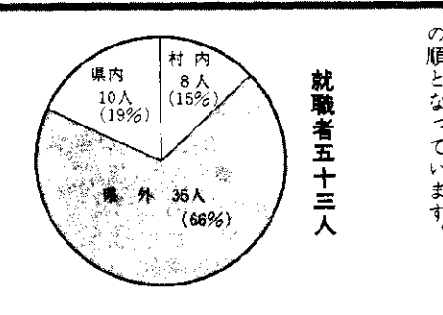
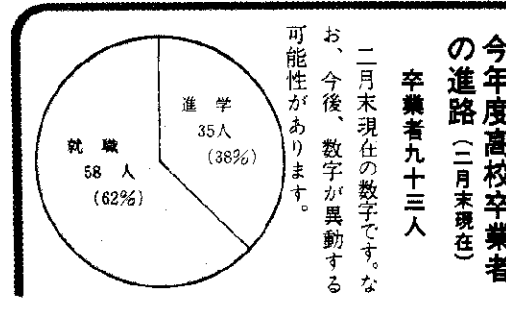
最近、村内にも四社の弱電業社が進出しており、総従業員数は、百七十人を超えています。日本一の豪雪地帯に進出してくれる企業は、おほいそれとありませんが、ほこりを謙う精密機械の分野では、降雪地が見直されていると聞きます。

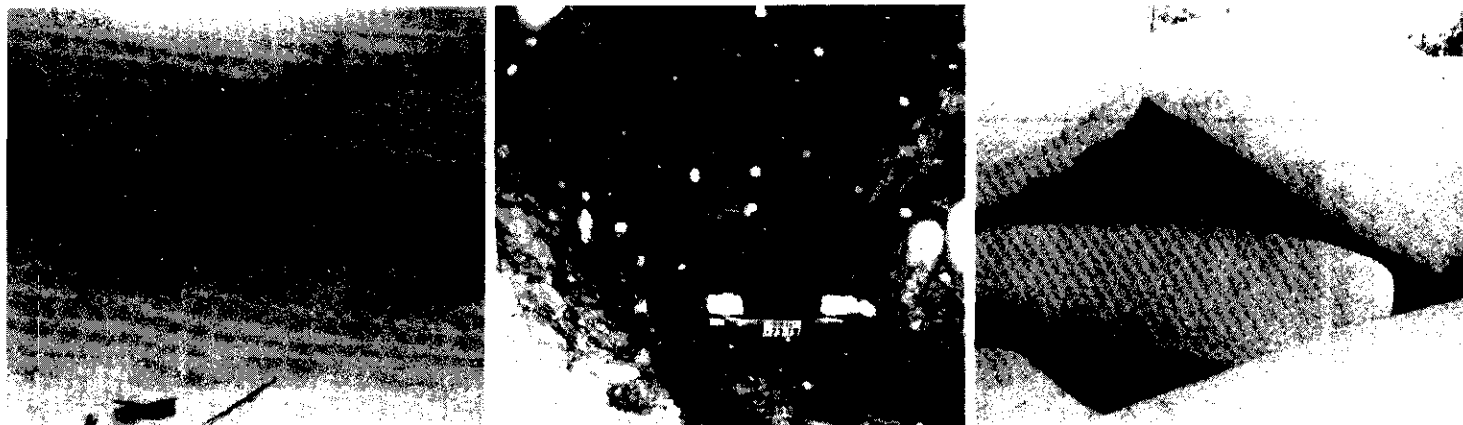
企業誘致も過球化現象をくい止めるための即効性のある手段ですが、この地域の気候、風土を生かした地場産業の育成も必要なこと

です。大分県で提議している一村が一品の特産物をもとうという一村一品運動が全国に広がっています。

わが村も、絹織物の技術を生かした他製品の開発、日本一の優良米を生かした米菓子等の研究。また、スキー場の開発、魚の放流による釣場の設置などいろいろと考えられます。

村に残る若い人たちに希望の持てる村づくりをするためには、今、第一線で働いている人たちのリーダーシップが必要で、村民が一丸となって自慢のできる村を築いていきたいと思います。





雪に埋もれる家(清田山)

2月9日 PM5:30 (国道117山崎地内)

Uターンした雪崩が激突(古屋旅館)

# 五九豪雪の現況

雪がたくさん降るのがイヤだが、あとは災害も無いし良い所だ。こんな気持ちで豪雪に耐えているわしたち。五九豪雪は、こんな甘い考えを吹き飛ばす悲しい災害をもたらしました。この災害を今後の教訓として生かし、豪雪に対する防災体制の強化をすすめなければなりません。

## 一・二八豪雪対策本部を設置

小正月過ぎから降りつづいた雪は、五六豪雪を思わせ、高道山(山崎)観測点では、一月十五日〜十七日までの三日間で降雪量が百八十五センチとなり、積雪三・二メートルを記録しました。役場では、降り続く雪から災害を防止するために、豪雪対策本部を一月十八日午前九時に設置しました。十五日から四日連続の降雪で、ついに鷹羽、西方、土倉、倉下の四集落、四十五世帯、百八十二人が孤立状態となりましたが、必死の除雪作業で十九日には、孤立を解除しました。十七日現在の積雪量は、土倉で四・七、高道山で

は、豪雪対策本部を豪雪災害対策本部にあらため、村内のパトロールの強化を実施しました。

## 二月三日から降りつづいた雪は、九日にピークに達し、高道山(山崎)の積雪量が四・〇を記録しました。

二月九日、午後五時二十分、清津峡温泉雪崩災害が発生し、五世帯(二世帯全壊、三世帯一部破壊)が被害にあい、清津館の五人の方の尊い生命が奪われる結果となりました。二月十日には、西方、土倉、倉下が二度目の孤立状態となりましたが、十三日に圧雪により西方が解除され、十八日には、倉下から獲沢までの峠越えの道つげにより土倉、倉下の孤立が解除されました。二月十日、雪崩の危険のため、小出の三世帯、十五人と角間の教員住宅(教員二人)に避難勧告を出しました。二月十一日、温泉地区の

より角間の教員住宅に出していた避難勧告を解除しました。

## 二月十四日、雪どろし等により、小出の三世帯に解除された避難勧告を解除しました。

二月十五日、田所小学校が、雪崩の危険のため、教員五人と生徒十六人に避難指示を出し、現在、田代生活改善センターと所平克雪センターで分散授業を行っています。二月十六日、災害救助法が更新され、二十七日にも更新されています。

## みんなの力で解決を

豪雪対策本部に寄せられた住民の苦情や要望の多くは、次のようなものです。一、流雪溝への無理な雪捨てによる水つき。二、小河川へ、雪の押し出しによる水つき。三、屋根雪の道路への投げ

## 自然の威力まざまざ

二月九日、午後五時二十分に発生した清津峡温泉雪崩災害は、尊い五人の生命と二世帯の全壊(清津館、苗場館)三世帯の一部破壊(古屋旅館、村山荘、溪山荘)という大きな災害となりました。この災害について、時間を追って説明します。

星野建設のタイヤドージャーが除雪進行中であつた。七時半、タイヤドージャーが第二トンネルの先、三十メートルまで除雪した所で、後続の第三分団の消防団員十人とともに腰まで埋まる道を必死のラッセルをする

かなすき間から内部に突入するが、中からの救出は困難と思われ、家の中に閉じ込められていると思われる所の屋根をまくる作業を開始した。しかし、固くしまつた雪と太い梁や角材にはばまれ救出作業は難航。二月三十分、宇ちゃん健ちゃんが掃らぬ姿で収容され、また、ハルさんを救出しましたが帰らぬ人となりました。

その十五分後、雪の下から自力で掘り進んできた清さんが、救助を求め雪崩発生から八時間後に無事救出されました。清さん無事救出で救助隊員も勢いづき、残る久丸さんと栄美さんの救出に全力を上げる。この

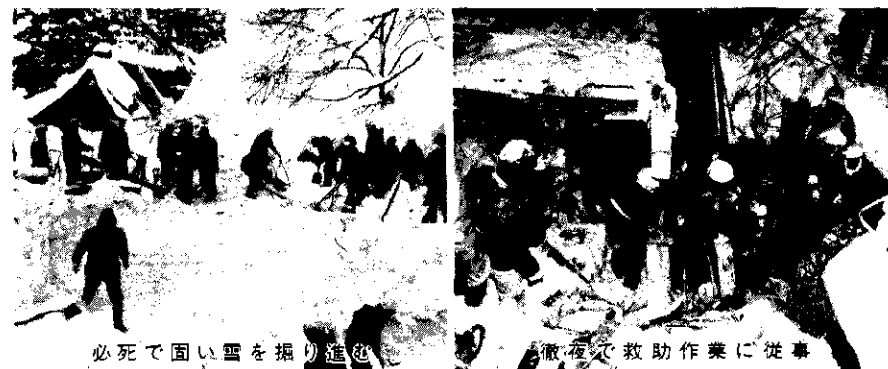
## 防災体制の強化に全力を

災害発生以後の新聞報道の中には、真実と著しく異なる点があり、村民の皆さんが役場に対する不信感を持たれたのではないかと危惧しています。某新聞に個人名入りで発言した内容の記載がありました。役場では後日発言した内容について、真実を確かめたところ、そのような発言はしていないという返答でした。

## 災害に万全を

中里村長 上村賢造

本年は異常な豪雪となり、皆さんには大変ご苦労をされていることと思います。役場といたしましても、去る1月18日に中里村豪雪対策本部を設置し、道路パトロール、雪崩危険箇所の見廻り等を行ってきました。2月3日苗場館の更に対岸の雪に注意するよう地区の人々にお願いするよう要請していたところでありましたが、2月9日午後5時20分突如起きました大雪崩は、5人の尊い生命を奪う大惨事となってしまいました。皆さんの懸命な御尽力をいただきまして、本当にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。今回の災害は、改めて自然の厳しさと、災害の恐ろしさを痛感させられました。今後は一層災害に対する予防と救助体制の強化に力を入れていく所存でございます。亡くなられた方々の御冥福を祈るとともに二度とこのような大惨事を招かぬよう、行政と村民が一体となって、このようにお願いしたいと思っておりますので、よろしくご協力をお願い申し上げます。この



必死で固い雪を掘り進む 徹夜で救助作業に従事



懐かしいですねー 故郷のみなさん

# 故郷を思う心今なお

故郷を離れた人たちにとって、故郷はかけがえのないものではないでしょうか。村ではこうした人々と交流を図り、故郷の自然に親しんでいただくとともに故郷の発展のために力添えをいただきたいと考へ、第一回の郷土出身者交流会を開催しました。

故郷を離れた人たちにとって故郷の山、川で遊んだ事は生涯楽しい思い出として残っているようです。

村では、昨年みなさんの協力を得て二十四人を登録する郷土出身者名簿を作成しました。現在、東京には、清津郷会、東京倉俣会、貝野会といった中里出身者の会があります。

村では、こうした郷土出身者との交流を深めるために、去る二月十九日、上野新潟県人会館ではじめての郷土出身者交流会を開催いたしました。

この会には、故郷に熱い思いを寄せる郷土出身者四十六名が出席しました。出席者の中には、裸一貫でソバ屋、豆腐店などを経営している人も多く、諸先輩方の苦勞と粘り強さを感じました。

交流会のはじめに村長から「中里出身者のみなさんと、村との交流を深めたい」とあいさつがありました。

次いで事務局側から、村の村勢全般にわたる概況説明ならびに「一人でも多くの中里から中里村に来ていただき村の活性化を図りたい。そのためには、村を一番理解してくれている郷土出身者のみなさんの協力をいただきたい」と要請しました。

郷土出身者と村を結ぶ一つの事業として「ふるさと

## 「ふるさと」を思う

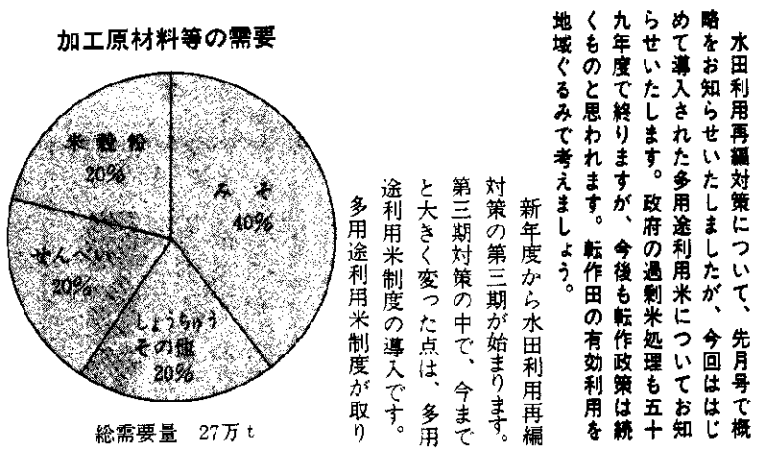


東京都杉並区 志田 正

美しい山河に囲まれた大自然の狭間で、わたしたちを育んでくれたふるさと。あまでもあり懐かき思い出が環境に恵まれている。都会では味わえない恵まれた環境に感謝しています。また、限られた耕地だけに、男以下は、村を離れるを得ない。他、成功者もなくありません。この人たちは、生きていく上で何らかの苦境に立ちまわっています。そうしたときふるさとを思い、また、同郷の先輩に励まされたこと、なにか力になったこと、先代から引き継いで、毎年集まっています。

最後に、よりよい郷土づくりに助けていただけるふるさとの方々の健康をお祈りいたします。

## 多用途利用米 転作面積7a以上に配分



水田利用再編対策について、先月号で概略をお知らせしましたが、今回ははじめて導入された多用途利用米についてお知らせいたします。政府の過剰米処理も五十九年度で終了しますが、今後も転作政策は続くものと思われ、転作田の有効利用を地域ぐるみで考えましょう。

新年度から水田利用再編対策の第三期が始まります。第三期対策の中で、今までと大きく変わった点は、多用途利用米制度の導入です。

入れられた理由としては、次のことが上げられます。

一、湿田地域等では、畑作物への円滑な転作が困難なことや、地域によっては、転作が限界にきていること

二、過剰米処理の終了（五十九年度）に伴い、新たに加工原材料用米（ミソ・センベイなど）の必要性が生じていること。

三、水田のもつ高い生産力と国土保全機能（降雨量を一時的に湛水し調節）を発揮させ、その有効利用を図ること。

この制度の導入で、従来の青刈稲の有効化とソバ、大豆などの捨て作りを減少できるメリットがあります。

十ヘクタール多用途米面積 七百三十九機

ウム、お主でできるねー

二月十九日、総合センターで開かれた村民娯楽大会には、村内の腕自慢三十人が集まりました。

会場となった一階の和室は、マージャンのバイを聞き出す音、百人一首の読み手の声が交錯し、活気と熱気があふれていました。

★マージャン

一位 吉楽 義夫 上山

二位 尾身 豊作 上山

三位 山田 博 田中

★囲碁

一位 吉楽 周治 田中

二位 大島 正司 白羽毛

三位 南雲 繁一 田中

〃 鈴木 善雄 〃

★百人一首

一位 村山長一郎 東田沢

二位 樋口 満子 通り山

三位 井ノ川よき 山崎



百人一首は健康にもよいよ



ふるさと故郷を思う



故郷の発展を願って

中里の会」の案が事務局から示され質疑の後、若干の修正をすることでほぼ同意を得ました。このふるさと中里の会は、個人を対象とした会員方式で、会費を徴収し、加入された方には四季折々の味覚の発送、村を訪ずれた時の宿泊料金の割引など種々の特典が盛り込まれる予定です。

出身者からは「ふるさと森の有償譲渡による、子孫におよぶ長い交流のきっかけを」、「日本一のトマト産地に」、「ワラビ、ゼンマイ、マタタビの栽培で特産物を」、「清津川にアユ、鯉の放流による観光を」、「おふくろの味、ふるさとの味の特産品の開発を」、「過疎を逆手にとった開発を」というように故郷の発展を願う意見が次々と飛び出しました。

村では、多用途利用米の配分について検討を重ねてきましたが、転作目標面積がおおむね七アール以上の農家に配分することに決定しました。（五人家族の場合、おおむね六十アール以上の耕作面積）一俵当りの販売価格は一、二等米一万四千三百円、三等米一万八千四百円（六十キロ）となっております。出荷単位は三十キロでお願いします。

生産、出荷、販売

農家が農協、経済連を通じて全農と一他用途利用米生産、出荷契約（仮称）を結び生産、出荷していただくこととなります。

出荷された多用途利用米は、現行の自主流通米と同様、国の検査後、農協、経済連を通じて、全農から破砕加工の上、実需者に販売されます。

限度数量四万九千七百九機

四年続きの不作で政府の手持ち米も底をつき五十九年度の限度数量は前年度より、三千五百八十三俵多い四万九千七百九俵（モチ米含む）となっております。

農家のみなさんの限度数量いっぱいの出荷をお願いします。

母と子どものつながり

村内の赤ちゃんと子どもたちが、丈夫ですこやかに成長する手助けと、婦人自らの健康を守るために中里村母子愛育会があります。

恒例の母子愛育会と婦人会の合同研修会が、去る二月二十八日、保健センターで開かれ、四十八人の婦人が集まりました。

研修会の中では、六人の方が、母子関係などの研修会に参加した体験を基に、貴重な発表をされました。

通り山の島田トヨさんは「夫婦が仲良く幸せな家庭を作ることが、よりよい社会をつくることになる。結婚生活も、三年、五年とたつ内に、アクビの出る仲間になってしまふ。こういう時は、熱く燃え合った初心に戻る必要がある。うまくいっている夫婦は、健康管理がうまくいって、家計のやりくりも上手である」と話されました。

つづいて田村和子さんは、父親の果す役割の重要性と



報告に熱心に耳を傾ける

地域ぐるみでの青少年非行防止について、渡辺房江さんは、子どもの年齢に応じた親の接し方を、滝沢ノブさんは、高齢化社会における歯のたいせつさを、樋口ヒサさんは、最近の子どもが、ころんだとき頭をケガする原因として、歩行器具の普及による「はう」ことの減少と、危険な遊びなどを禁じてしまうことなどが考えられると話されました。どの発表も、研修会で得た知識を自分のものとし説得力がありました。

母子愛育会では、子どもを母乳で育てようと運動を続けています。母乳は、子どもに病気に対する抵抗力を与えると共に、親子のスキンシップに欠かせません。

懇親会の中では、小さいころの思い出や中里村の発展に対する意見など、話の花が咲き、会場の雰囲気は暖かくしかも活気にあふれていました。

わたしたちは、こうした人たちの協力をも得ながら、村の活性化を図る努力をしましょう。

清津峡温泉雪崩災害に見舞われた中里村に集った皆さんから、清津峡温泉雪崩災害見舞金十二万九千円が集められ村長に渡されました。

アンケートから 故郷の思い出

- 四季折々の自然、素朴な美しさ。
- 山、川で遊んだこと。
- 盆、正月、小正月、祭り等の行事。
- 雪が深いこと、雪の風景。
- 小・中学校時代の行事。
- おふくろの味、人情味。
- 交通が不便であったこと。
- 空気が澄み、故郷の味。
- ふるさと事業への要望
- 年別の同窓会、弁論大会
- 故郷中里祭
- 出身者が帰郷した際の宿泊施設や交流の場を
- 故郷林の有償譲渡。
- 農産物などの直送。



# 行事予定表

おもしろい行事などがありましたら取材に行きます。連絡をください。

\*変更することがあります。御用の際は担当課で確認を。

11日	休日救急医 (津南病院 65-3161)
15日	高齢者講座開講式(総合センター 10:00~)
16日	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00) 妊婦検診・母親学級 10ページ参照
18日	休日救急医 (第2藤巻病院 68-2018) 商工会講演会 (手づくりのマチづくり 商工会館 13:00~16:00) 家庭教育講座 (情報化社会と家庭教育 13:30~)
19日	転作説明会 (高道山集落センター 9:30~12:00 高道山地区) (貝野多目的研修センター 13:30~16:00 貝野地区)
20日	春分の日 休日救急医 (富田医院 52-3269) 中里物産展 (総合センター前 10:00~16:00) (キノコ、ウド、ササダンゴ、コイ、ヤマメ、イワナいろいろあります)
21日	献血 (保健センター前 10:00~15:00) 転作説明会 (小出生活改善センター 9:30~12:00 清津峡地区) (多目的研修施設 13:30~16:00 田沢南地区)
22日	転作説明会 (倉保生活改善センター 9:30~12:00 倉保地区) (多目的研修施設 13:30~16:00 田沢北地区)
23日	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00) 軽油免税証の交付(役場議場 10:00~16:00)
25日	休日救急医 (中条病院 57-3018) 第5回村内学童親善クросカントリー大会兼村民スキー大会 市之越10:00開会式
30日	心配ごと行政相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00)
1日	休日救急医 (上村病院 63-2111)
5日	ポリオ生ワクチン (保健センター 14:00~15:30 村内全域) 入所式 (中里保育所 9:00~ 南保育所 10:00~)
6日	心配ごと相談日 (老人福祉センター 13:00~16:00) 入所式 (児童館 10:00~)
8日	休日救急医 (津南病院 65-3161)
9日	隣地保育所入所式 (貝野保育所 9:00~ 倉保保育所 10:00~ 清津峡保育所 10:00~)
10日	ポリオ生ワクチン (保健センター 14:00~15:30 村内全域)

### 先物取引にご注意を

自宅や職場に電話がかかり「大豆が値下りしている今が買うチャンスだ」「絶対に儲かるから」などと巧みに誘われて知識のないままに強引に契約させられ、あとで大金をまき上げられた。こうしたケースがあとをたちません。

一般の人たちは、こうした取引に手を出さないのが賢明です。また、取引を強引に誘われても、取引をする意志のない場合は、あいまいな返事はやめて、はっきり断わりましょう。

もし、こうした取引に手を出して困っている人がいましたら、六日町消費者センターへご相談ください。

☎(三三)七二一七九五五

### ポールをめぐって快走

スキー大会を通して、村民同志の親睦とスキー技術の向上を図ろうと去る三月四日、八箇スキー場で村民スキー大会が開かれました。

今大会には、チビ子選手を中心

- に四十人が参加し、巧みにポールをめぐり抜けました。こうした大会に親子で気軽に参加し、ふれあいの場として活用してほしいものです。
- 成績**
- ★小学生低学年(男子)
- 一位 樋口 毅 田沢小
  - 二位 林実和子 田沢小
  - 三位 樋口祐佳 田沢小
- ★小学生高学年(男子)
- 一位 島田博樹 倉保小
  - 二位 岡村充由 田沢小
  - 三位 小林 司 田沢小
- ★中学生(男子)
- 一位 島田博春 倉保中
  - 二位 山本勝利 通里山
  - 三位 岡村憲次 通里山
- ★一般(男子)
- 一位 山本勝利 通里山
  - 二位 山本勝久 小出
  - 三位 岡村憲次 通里山

### 農業に生きる

養蚕経営に見切りをつけたのは「養蚕組合方式では、収益を上げるのが難しいことと、出稼ぎをしなくてもよい農業経営を確立したかったからです」と迷いはありません。

養蚕に見切りをつけたのは「養蚕組合方式では、収益を上げるのが難しいことと、出稼ぎをしなくてもよい農業経営を確立したかったからです」と迷いはありません。

### 市之越 富井 弘明さん

せんでしたか。もう四十歳でしょう。失敗は許せないんです。随分投資もしたし後には引けません。ホダ木の本数は「毎年七千本ずつ新しいホダ木を入れるつもりです。そうしますと約二万本のホダ木から収穫ができると思います。これからの農業は「村内で水田だけでは暮らしていけるのは五軒とないと思います。水田にプラスした複合経営を考えていかなければ、村に要望は「補助をしてやればそれはいいというのではなく親身になって農家の相談相手になってくれる体制がほしい」と話してくれました。

- ### 人生往來
- \*おめでた\*
- 桃子 (田中和之) 千溝
  - 直行 (富井康雄) 如来寺
  - 昭彦 (服部彦一) 東田沢
  - 裕子 (山田正一郎) 東田沢
  - 拓実 (山本徳重) 小出
  - 朗 (高野茂美) 白羽毛
  - 勇児 (鈴木正巳) 角間
  - 裕美 (中嶋 睦) 本屋敷
  - 恵梨 (吉栗一彦) 宮中
  - 由香里 (山田廣一) 田代
  - 聖子 (山本友治) 小出
- \*おこやみ\*
- 高橋 マツ 倉保
  - 吉栗 信正 上山
  - 桑原 栄美 小出
  - 桑原 亨 小出
  - 桑原 健 小出
  - 桑原 ハル 小出
  - 桑原 久丸 小出
  - 根津 タツ 芋川
  - 富井 チャウ 市之越
  - 桑原 タカノ 東田沢
  - 柳 マス 本屋敷
  - 山田 仁介 宮中

### 雪崩発生にご注意を

三月に入り、気温が上がってきますと更に雪崩が発生しやすくなります。危険と思われる箇所がありましたら、雪害対策本部へご連絡ください。

☎(六三)二五一一

# みんなのひろば

## 固定資産税台帳の縦覧

三月一日〜三月三十一日まで、固定資産税台帳の縦覧を行いますので、希望者は、役場税務課までおいでください。

## 医療費のお知らせ

あなたのご家庭で、昨年十月、十一月、十二月に病気や負傷のため、国民健康保険で治療を受けた際の医療費をお知らせいたします。

(老人保健法の対象者については、七、八、九月にかかった分)

このお知らせは、医療費の実際を知っていただき、皆さんが健康のたいせつさを認識し国民健康保険事業がより健全に発展するように、ご理解をいただくために、行っているものです。



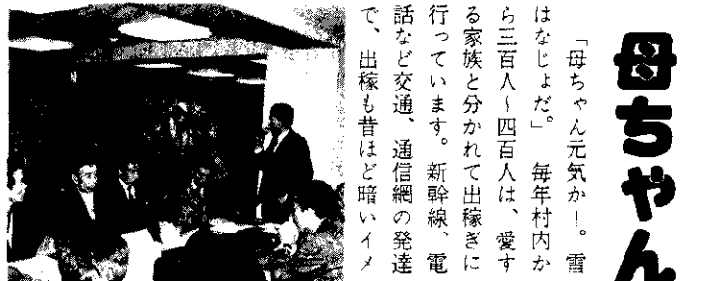
新婚さん  
しゅじゅい!

芋沢 保坂 政司さん 美佐枝さん

「十日町の五カ月間のアパート生活が一番、新生活」といふ気分でした。と話す二人。二人は、知り合いの喫茶店で出合いの交際をするようになったといひます。

第一印象は「明るくてとても話しやすかった」と美佐枝さん。ちよつぱり太目だけど可愛いと思った。

と政司さん。結婚をしようと思ったのは「こまめに俺のことを心配してくれるんですよ。そんなところにひかれました」と政司さん。「わたしのことに何でも一生けんめいになってくれると相談相手になってくれるところですよ」と美佐枝さん。ケンカは「しよっちゅうです。酒を飲んで遅くなる時電話をかけてくれませんか。すよ……」。こんな二人は、日下二人だけの新婚で甘い新婚生活を送っています。



### 母ちゃん元気だよ

「母ちゃん元気か!。雪はなじよだ」。毎年村内から三百人〜四百人は、愛する家族と分かれて出稼ぎに行っています。新幹線、電話など交通、通信網の発達で、出稼も昔ほど暗いイメージがなくなりました。

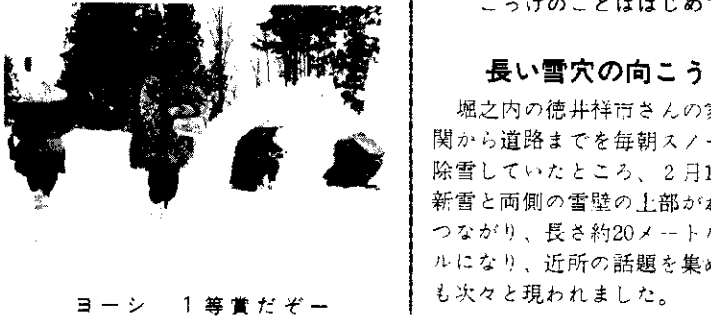
二月十九日、年に一度の出稼者の集まりである現地懇談会が開かれ、村からは村長をはじめ農業委員長等が出席しました。会のはじめに村長から、清津峡温

泉雪崩災害の状況と、今年の村の主事業について話されました。次いで、県の出稼相談員である出口氏が、「新潟の人は、良く働いてくれると事業主の評価も高い。どうぞ、健康に注意され、がんばってください」とあいさつされました。

懇親会の席では、出稼仲間同志久しぶりの再会を喜び、故郷や仕事先の話に花を咲かせていました。出稼ぎで一番心配なことはと聞きますと、「女房一人なんですよ。雪が一番心配ですね。」「家族の健康だね」と、話してくれ「ほんとうに雪掘りご苦労さん」と言いたいと話してくれました。

### 父ちゃんも帰って大にぎわい

雪上運動会の元祖といわれている清田山集落の第22回雪上運動会が、3月3日に行われました。この運動会は、清田山分校の生徒たちを含めた集落ぐるみで行われています。中には、出稼先から帰ってきた父ちゃんもいて、笑いと歓声が山々に響きました。



長い雪穴の向こうに家  
堀之内の徳井祥行さんの家では、玄関から道路までを毎朝スノーダンプで除雪していたところ、2月10日ごろの新雪と両側の雪壁の上部がわん曲してつながり、長さ約20メートルのトンネルになり、近所の話題を集め、見物者も次々と現われました。

### ジン焼き NHKで放送

一家が丈夫になるようにと、20日正月に行われていたジン焼き(頭のジンコウ)の模様が、白羽毛の樋口俱吉さん宅で録画撮りされ、NHKで放送されました。ジン焼きは、もぐさを丸めたのに火をつけて、家族中の頭の上に上げて回る昔からの習わしです。



放送を熱心に見る近所の人たち